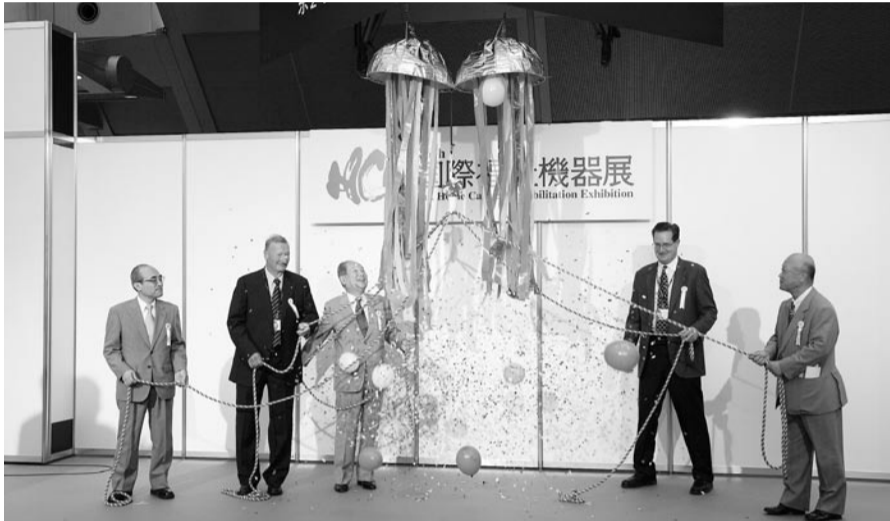


H.C.R. 2009 第36回 国際福祉機器展H.C.R. 2009報告

1 オープニングセレモニー Opening Ceremony

第36回国際福祉機器展H.C.R. 2009は、来場された皆様や後援・協賛団体など関係者を前にして、全国社会福祉協議会 会長 斎藤十朗の開会宣言で3日間の幕を開けまして、引き続き行われた「くす玉」オープン（海外コーディネーター クリスチャン・カーステンセン氏〔デンマーク〕、同トム・ボーチャーディング氏〔U.S.A.〕、当協会 理事長 小林和弘）により開場いたしました。

- 日時 9月29日(火) 9:50～
- 場所 東2ホール前



2 15か国・地域、491社・団体が出展 491 Exhibitors from 15 Countries / Territories

国内企業・団体の出展は438社・団体（新規出展70社・団体）、海外企業・団体は14か国・地域より53社が出展しました。

全体では、42,710㎡の会場に、20,000点をこえる福祉機器・介護用品が総合展示されました。

国名	社数	国名	社数
日本	438	ドイツ	6
アメリカ	6	ノルウェー	1
イギリス	5	フランス	1
オランダ	2	メキシコ	1
カナダ	2	韓国	2
スイス	1	台湾	12
スウェーデン	7	中国	2
デンマーク	5		

3 出展関係者の交流会を開催 Social Event for Exhibitors & Other Guests

出展社・団体、後援・協賛団体など約250名関係者が参加し、交流会が開催されました。交流会では、保健福祉広報協会 理事長 小林 和弘による主催者あいさつの後、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室長 矢田 宏人 氏より祝辞をいただきました。

また、国際福祉機器展15回出展社・団体に対し、主催者より感謝状と記念品が贈られました。今年は、国内14社・団体、海外1社となりました。

●15回出展企業 感謝状贈呈

国内14社・団体 海外1社 (アルファベット/五十音順)

アートテクニカ(株)	(株)ティグ
片倉工業(株)	花岡車輛(株)
ケアメディックス(株)	パナソニック(株)
国立障害者リハビリテーションセンター研究所	(株)ビック・バン
五敬工業(株)	マツダ(株)
(有)コス・インターナショナル	和光工業(株) リフト事業部
コンビウエルネス(株)	Invacare Dolomite AB (Sweden)
タカノ(株)	インバケアードロミテ エービー (スウェーデン)

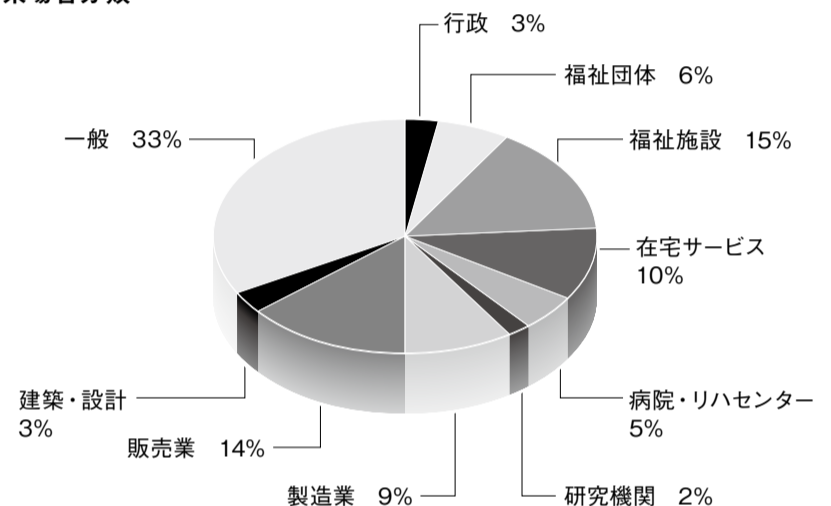
4 108,000人が来場。 一般来場者の割合が増加

108,000 Visitors Increase in the General Public

第36回国際福祉機器展H.C.R. 2009は述べ来場者107,911人となりました。来場者の分類では、一般の方が33%と一番多く全体の約3分の1を占めました。次に福祉施設15%、販売業14%、在宅サービス10%と続いています。来場者の分類の割合は、昨年度とほぼ同じでした。

月 日	来場者数	天気	累計来場者数
9月29日(火)	33,843人	曇り時々雨	—
9月30日(水)	35,161人	雨のち曇り	69,004人
10月1日(木)	38,907人	晴れ	107,911人

●来場者分類



5 出展製品 Exhibition Products

【製品別出展社数】

①移動機器

1	手動車いす	47
2	車いす関連用品	51
3	電動車いす	36
4	電動三輪・四輪車	10
5	自転車	3
6	介助車	19
7	歩行器・歩行補助車	60
8	杖	46
9	ストレッチャー等運搬器具	8
10	移乗補助機器	17
11	床走行リフト	21
12	固定式・据置式リフト	20
13	障害者用自動車運転装置	4
14	車いす等福祉車輛	18
15	入浴用特殊車輛	1
16	移動関連機器	22

②ベッド用品

17	ベッド	28
18	マットレス、床ずれ予防製品	40
19	サイドテーブル	12
20	介護用シーツ	12
21	ベッド関連用品	17

③入浴用品

22	浴槽	17
23	入浴用チェア	36
24	滑り止め用品	13
25	浴槽台	16
26	入浴用リフト	14
27	入浴関連用品	12

④トイレ・おむつ用品

28	ポータブルトイレ	17
29	便器・便座	18
30	防臭剤・消毒剤	11
31	トイレ関連用品	27
32	おむつ関連用品	20

⑤日常生活用品

33	いす・座位保持／立ち上がり補助用品	18
34	テーブル	7
35	家具	4
36	洗面台	5
37	食器・食器	14
38	キッチン	6
39	調理器	2
40	高齢者・障害者向け食品	10
41	衣類	22
42	靴	20
43	着脱衣補助具	1
44	介護関連用品	31
45	日常生活関連用品	32



⑥コミュニケーション機器

46	補聴器	7
47	緊急通報・警報装置	15
48	障害者用ワープロ・コンピューター、点字プリンター	7
49	OA入力・操作補助具	6
50	障害者用ソフトウェア	10
51	拡大読書機	3
52	福祉電話、FAX、携帯会話補助機	7
53	視覚障害者用誘導システム	7
54	コミュニケーション関連機器	14

⑦建築・住宅設備

55	スロープ	15
56	手すり	23
57	エレベーター	1
58	段差解消機器	12
59	階段昇降機	12
60	建築住宅関連設備	13

⑧リハビリ機器

61	歩行等訓練機器	18
62	リハビリ用教材・機器・設備	22

⑨義肢・装具

63	義肢・装具	17
----	-------	----

⑩防災用品

64	防災用品	9
----	------	---

⑪施設用設備・用品

65	施設用床材・壁材	3
66	洗濯機・乾燥機	7
67	消毒機・脱臭器・空気清浄器	13
68	介護従事者用衣類	5
69	施設関連設備	11

⑫住宅・施設サービス

70	福祉事業関係コンピュータシステム	33
----	------------------	----

⑬介護予防機器

71	筋力トレーニング機器、身体機能訓練	24
72	口腔ケア用品	14

⑭出版・福祉機器情報

73	福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍、情報誌、新聞、放送通信、Webサイト	26
----	--------------------------------------	----



6 ヨーロッパから講師を招き、国際シンポジウムを開催

H.C.R. 2009 International Symposium

本会では、国際福祉機器展の開催に併せ、欧州やわが国に共通する福祉・介護分野の課題について、海外から専門家を招き、当該国の取り組み事例や課題を紹介する国際シンポジウムを毎年開催しています。

先進各国は少子化対策に取り組んできました。近年、ヨーロッパでは積極的に女性の職域進出を支援し、家庭での男女の伝統的な役割を見直している国々の出生率が向上しています。

シンポジウムでは少子化と育児環境の関係を考察するためヨーロッパから少子化政策の専門家を招き、わが国の現状を踏まえ参加者と意見交換をし、理解を深めるところとなりました。参加者数は188人でした。

H.C.R. 2009国際シンポジウム

9月30日(水)

13:00 ~ 15:30

「ヨーロッパ各国の女性の職域進出と育児環境」

●シンポジスト Dr. Livia Sz. Olah スウェーデン・ストックホルム大学准教授

●チューター 榎原 智子氏 読売新聞東京本社生活情報部記者



主催者企画

「子ども広場」を特設

今年も主催者企画・展示として「子ども広場」を特設いたしました。広場では、車いすや日常生活用品の他に学習機器やコミュニケーション機器など親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器を総合的に展示いたしました。あわせて、同広場では福祉機器の利用や療育などの相談コーナーを設け、無料で子育て支援のための情報提供や相談をおこないました。



①場所 東京ビッグサイト東2～3ホール内「特設会場」

②内容 ア. 障害のある子どもに関する相談：福祉機器相談、療育相談

イ. 子ども用の福祉機器の展示：学習機器・コミュニケーション機器、車いす、バギー・歩行器、食器・くつ、いす・カーシート

運営協力	相談コーナー	横浜市総合リハビリテーションセンター
	福祉機器展示	アイリスチトセ(株)、(有)ウインド、M&Rるーむ、(株)オーエックスエンジニアリング、(株)小原工業、(株)カワムラサイクル、キヨタ(株)、黒田(株)、(有)コス・インターナショナル、(株)コムラ製作所、産業技術連携推進会議 医療福祉技術分科会、JOHNAN(株)、澄建設(有)、(株)台和、タカノ(株)、中国地域次世代中核産業形成プロジェクト、tree絵本プロジェクト、テクノグリーン(株)、ノイエス(株)、(株)ハートウォーカージャパン、パシフィックサプライ(株)、(株)バンダイナムコゲームス、飛翔(株)、フランスベッド(株)、(株)メックデザイン、横浜市総合リハビリテーションセンター

ウ. ひとやすみコーナー(休憩)